

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球 首脳、政府高官）Ⅷ

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 椎名, 三木, 外務大臣, 太田, 松岡, 屋良, 主席, 堀総務副長官, ランパート高等弁務官, 屋良主席, 愛知外務大臣に対する要請書 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191

44
4.25

田中外務政務次官
沖繩復帰協代表

右、しかし次官の招待要切に依り、同席者中
明崎代士も当然に之を以て之となく、約

40分以上の答へ続いた。先方の弁論は種
々に論理通せず、支離滅裂、その程度

の低く(概ね20-30代の若者風、~~年配者~~同席
者中2-3名)を示した。概ね沖繩在野の

70年代
の、~~不-~~が在野に在りて発言する者(比、~~日~~
原潜基地撤去、安保反対、米国の植民政策

反対、平和憲法、米軍基地の存続等、~~米軍~~
犯罪基地公言、対沖差別、~~日~~政府の沖
(日政争)

争を主張し、政府は撤去自由使用を認
め、)

4. 約45分後、当方明崎代士は、約45分
を充分上廻った。其に措き、同代士は

同席に款士を依り、同席二人は、
既に全退退室した。しかし表裏に

至ったと云ふ、然らば、約45分後に退室、
此は「大臣に届かせる」と云ふ、立上るに、

同代士は
是より、~~約45分~~先程に退室せし、
5分後、約30分後に退室退去した。右

約45分後に退室退去した。
7分後、~~約45分~~先程に退室退去した。

5. 所感 - 当初の社会党の方針の連絡、
人数「静かに」話すとの印象であったが、上記の
如く、約45分後の印象と異なつた。しかし、後述の
代表は、
は、余り果敢と、~~約45分~~に於て、
一、談判はと云ふ、~~約45分~~に於て、
~~約45分~~に於て、
~~約45分~~に於て、
~~約45分~~に於て、
(後述)